沖縄県受託事業

令和8年度
性暴力被害者のための
支援機関等従事者研修

性暴力被害者への総合的支援を担うワンストップ支援センターにおいて、中核となる相談支援体制を整備するため、医療関係者や支援機関従事者が被害者の心情理解や適切な対応について学び、相互に連携を深めることを目的として研修を実施する。

2026年11月21日(土)
13:00～15:00

申込期間：~~10/31~~ 11/18まで延長

性暴力被害が及ぼす影響
～トラウマと解離について知る～



中島 幸子 氏
（NPO法人レジリエンス代表）

NPO法人レジリエンス代表。米国法学博士・ソーシャルワーク修士。暴力被害を機に2003年団体設立。「こころのcare講座」を開講し全国で講演。法務省企画で矯正施設講習・研修を実施し、24年より内閣府検討会委員。

2026年12月12日(土)
13:00～15:00

申込期間：9/1～11/30

子どもを性暴力から守るため
～救えたはずの命から託された願い～



安永 智美 氏
（元 福岡県警察少年サポートセンター）

84年から福岡県警勤務後、96年より少年育成指導官として非行・いじめに対応。「サポレンジャー・レッド隊長」として活動。24年からはスクールカウンセラーや保護司、講師として研修・講演を行い、法務省国際研修会で28ヵ国に取り組みを発信。

2027年1月16日(土)
13:00～15:00

申込期間：9/1～12/31

子どもの性被害の実態、性暴力被害者支援の基本的姿勢および留意点



後藤 弘子 氏
（千葉大学　理事・副学長）

24年3月まで千葉大学大学院社会学研究科教授として法科大学院で「少年法」「ジェンダーと法」を20年間教える。専門は刑事法。ジェンダー法学会理事長、被害者学会理事長。共著として『ジェンダーレンズで見る刑事法』『ストーキングの現状と対策』『性暴力と刑事法』など。

ハイブリッド研修

研修内容：性暴力被害の現場から見た支援　性暴力被害が及ぼす影響
対　　象：性暴力被害者支援に関わる関係機関に従事する方
定　　員：各100名
会　　場：沖縄県看護協会（南風原町新川272番地17）
申込方法：下記QRコードよりお申込みください
受講方法：対面　または オンライン

参加費 無料

お申込は
こちらから

【お問い合わせ】
公益社団法人沖縄県看護協会　教育課
担当：知念、池原
TEL：098-888-3105（平日9：00～17：00）
MAIL：kyouiku@oki-kango.or.jp